



平成 27 年 6 月 3 日

海 事 局 海 技 課

## 海技教育機構の海上就職率は前年度と同水準の 9 割超

～船員教育機関卒業生の求人・就職状況及び応募・入学状況について～

船員教育機関である商船系大学（2校）、商船系高等専門学校（5校）及び（独）海技教育機構（海上技術学校（4校）、海上技術短期大学校（3校）、海技大学校）の平成 26 年度卒業生の求人・就職状況及び平成 27 年度応募・入学状況について、別紙のとおり取りまとめましたのでお知らせします。

○海上産業への就職率（※）は、商船系大学 90.0%、商船系高専 67.2%、海技大学校 95.8%、海上技術学校及び海上技術短期大学校 98.8%（暫定値）。

○海技教育機構への入学者数は 405 人で、前年度比で 33 人増となった。

※就職希望者のうち、海上産業へ就職した者の割合

### 1. 調査対象

#### （1）船員教育機関卒業生の求人・就職状況（別紙 1）

- ① 平成 25 年度に東京海洋大学海洋工学部海事システム工学科（航海科）若しくは海洋電子機械工学科（機関科）又は神戸大学海事科学部海事技術マネジメント学科（航海分野、機関分野）、海洋ロジスティクス科学科若しくはマリンエンジニアリング学科を卒業し、平成 26 年度に乗船実習科を修了した者。
- ② 平成 26 年度に商船系高等専門学校（富山、鳥羽、広島、大島、弓削）の商船学科を卒業した者。
- ③ 平成 26 年度に海技大学校海上技術コース（航海専攻・機関専攻を除く）、海上技術学校（本科）若しくは海上技術短期大学校（専修科）を卒業した者及び平成 27 年 9 月に海上技術学校乗船実習科を修了予定の者。

#### （2）船員教育機関の応募・入学状況（平成 27 年度）（別紙 2）

- ① 東京海洋大学海洋工学部（海事システム工学科及び海洋電子機械工学科）並びに神戸大学海事科学部の応募者数及び入学者数。
- ② 商船系高等専門学校（5校）の商船学科の応募者数及び入学者数。
- ③ 海上技術学校（本科）及び海上技術短期大学校（専修科）の応募者数及び入学者数。

## 2. 調査結果の概要

### (1) 船員教育機関卒業生の求人・就職状況（別紙1）

- ① 海上産業への就職者は、商船系大学で63人(対前年度比19人減)、商船系高専で78人(同12人減)、海技大学校で23人(同増減なし)となっている。
- ② 海上産業への就職率は、商船系大学で90.0%(同5.5ポイント増)、商船系高専で67.2%(同0.5ポイント増)、海技大学校で95.8%(同4.2ポイント減)となっている。
- ③ 海上技術学校及び海上技術短期大学校については、最終集計を乗船実習科修了後の本年10月に行うこととしているが、4月現在の実績値では海上産業への就職者（内定者を含む）は339人(同21人増)、海上産業への就職率は98.8%（同0.7ポイント増）となっている。

### (2) 船員教育機関の応募・入学状況について（別紙2）

- ① 商船系大学への入学応募者については、1,365人（対前年度比141人減）、入学者については338人（同2人減）。
- ② 商船系高専への入学応募者については、486人（同69人増）、入学者については214人（同1人減）。
- ③ 海技教育機構（海上技術学校及び海上技術短期大学校）への入学応募者については、1,017人（同95人減）、入学者については、405人（同33人増）。
- ④ 海技教育機構では、応募倍率の上昇、内航業界や関係団体からの要望を踏まえ、今年度の入学定員を370名から380名に引き上げている。

入学応募倍率の推移をみると、商船系大学の倍率は4.1倍（同0.5ポイント減）で減少傾向、商船系高専の倍率は2.4倍（同0.3ポイント増）、海技教育機構の倍率は2.7倍（同0.3ポイント減）と、横ばいで推移している。

#### 【問い合わせ先】

国土交通省海事局海技課船員教育室 川路、渡部

代表：03-5253-8111（内線45-175、45-163）

直通：03-5253-8650

FAX：03-5253-1646